

講 義 要 項

I 基礎・教養科目

現代社会論

1・2年次選択（前期）2単位

講 師 服部 宏

講義目標

長年、新聞の報道現場に身を置いて、日本という国を観察してきました。郷土神奈川から「この国のかたち」を考えてきたとも言えましょう。その体験を基に、講義では日々のニュースの中から重要な問題やテーマをピックアップ、解説します。そのなかで現代という時代を読み解き、問題の本質、課題を見極める力を養います。それは、何が、どうして問題なのかを理解できる、社会人としての基礎体力を付ける学習にほかなりません。

最近の若い人には、歴史に対する知識、認識の不足が目につきます。「今」には、「過去」が隠れています。近年大きな問題になっている教科書検定問題ひとつとっても、現代史を踏まえなければ、本質的な理解はできません。

活字、電波、電子新聞などメディアの態様はさまざまですが、講義では新聞の報道と評論を主たる教材にします。時には具体的な紙面を使つての文章論、作文実習にも及びたいと思います。

講義内容

ニュースの作られ方、新聞の紙面製作、そのメッセージのくみ取り方などを手始めに、カレント・トピックスを分かりやすく解説します。

また随時、古今の名作映画の一部をビデオ上映して、理解を助けたいと思います。例えば、2009年5月までにわが国に導入される裁判員制度のあらましと問題点を知るには、アメリカ映画の名作「十二の怒れる男」が最適でしょう。優れた映画は、優れた教材になります。長年、CIE（シネマ・イン・エデュケーション＝教育に映画を活用すること）を提唱してきました。古典に触れることは、社会人としての素養にもなるでしょう。

評価方法

小論文（出席点も重視します）。時には簡単な作文を提出してもらい、添削します。

教科書

特にテキストは使いません。必要に応じてプリント、レジュメを配布します。

参考書

必要に応じて紹介します。

現代社会論

1・2年次選択（後期）2単位

助 教 梅田 玲子

講義目標

今あなたの生きるこの社会について改めて考えたことがありますか？「第三世界」を通じて、今の日本、そして世界をもう一度見直してみよう。私たちのいる社会の違った面が見えてくるはず。現代社会について、そこに存在する自分自身について一緒に考えて見よう。

講義内容

東南アジアのビデオ作品、文学作品などを通し、「先進国」「第三世界」とは何なのか、欧米に対する東洋とは何か、男性に対する女性とは何か、マジョリティに対するマイノリティとは何か、など現代社会を構成するさまざまな要素について考えます。

評価方法

出席、授業中の態度、レポート（状況により試験の可能性あり。）

教科書

プリント

参考書

教室で紹介

地球環境学概論

1・2年次選択（後期）2単位

講 師 片岡 八束

講義目標

本講義では、現代社会の直面する環境問題のうち、特に地球環境に関する問題群について概観する。先進国及び発展途上国における環境問題の現状と原因を紹介するとともに、これらの問題の解決に向けた取組とそれを実施する上での問題点について考える。

現在、地球上で観測される環境問題の多くは、18世紀末の産業革命以降に確立された大量生産・消費・廃棄に基づく経済発展パターンの結果、生じたものである。人類の社会経済活動による環境への負荷が増大するにつれ、局所的な自然破壊や公害問題が顕在化し、ついにはオゾン層の破壊や地球温暖化といった地球規模の問題へと拡大してきている。多くの発展途上諸国が経済的な発展を目指す中、これらの国々と経済先進諸国が協力して環境への負荷の出来るだけ小さい発展パターンを模索していくことが求められている。受講する学生諸君には、本講義を通じて身近な環境問題から地球規模の環境問題に至る多様な環境問題についての理解を深めると同時に、今後、環境に配慮した持続可能な開発の実現に向けて地球市民のひとりひとりが担うべき役割について考える力を養うことを期待する。

講義内容

地球環境問題についての導入ののち、地球温暖化、森林破壊、有害廃棄物の越境移動、途上国の環境問題など個別の地球環境問題を取り扱う。個別の問題を取り上げる際には、問題の概要とその対策だけではなく、貧困問題などその他の社会経済的な問題との関連にも言及する。

評価方法

出席、授業への参加、課題提出状況、期末試験による。

教科書

授業の際に配布する資料を使用

参考書

参考書については、講義の際に紹介する。

ボランティア論

1・2年次選択（前期）2単位

講師 岸川 洋治

講義目標

現代社会におけるボランティア活動の意義を考え、実践への手がかりを提供することを目標とします。

ボランティア活動は福祉、教育、環境、まちづくり、多文化共生、国際協力など現代社会が抱えている課題に市民が主体となって取り組む活動として関心が高まっています。ボランティア活動の担い手も、世代を超えて広範囲になっています。ボランティア活動は本来自発的な活動ですが、その活動がより意義あるものとなり、その成果が十分社会に還元されるためには、ボランティア活動の特質を理解することが不可欠です。

受講生自らがボランティア活動に関心を持ち、ボランティア活動実践の第一歩を踏み出すことを目標とします。

講義内容

具体的な活動事例の考察を通して、ボランティア活動の歴史的背景、現状、課題、特質、意義などへの理解を深めます。

1. ボランティア活動の歴史的背景
2. ボランティアの基本的特質
3. ボランティアの現状
 - (1) ハンディを持つ人びとに
 - (2) 高齢者を支える
 - (3) こどもたちの未来を考える
 - (4) コミュニティ形成に向けて
 - (5) 国際ボランティアの現状
4. ボランティアの課題
5. 現代社会におけるボランティアの意義

評価方法

期末レポート

教科書

なし

参考書

岩波書店編集部「ボランティアへの招待」岩波書店

哲学

1・2年次選択（前期）2単位

講師 越智 洋

講義目標

哲学とは、未知の情報・知識の獲得を目標とするというより、すでに在る自分と自分をとりかかむものの、その在り方の根本をみつめ、とらえなおそうとする思考実践です。一見途方もないようなそうした試みを、哲学は、実際に言葉を使って、ある場合には思い切った合理的発想で、またある場合には繊細な日常生活的感覚を活かしながら、実行していきます。授業では、哲学者たちをとらえて離さない幾つかの問題について、それが問題であるゆえん、また現代にいたる解明の要点を紹介します。それにならって、履修者のみなさんも、各自毎回小さなトライを、行うことになります。

講義内容

1. 哲学のアプローチの種々の仕方とその特質（絵本をヒントに）

2. 生・死の問題（エピクロスの言葉その他）
3. 自分の声や鏡像
4. 色・音の知覚体験と世界の実在性
5. 変化の本質と同一性
6. 時間は流れるか
7. 過去・記憶・歴史
8. 意味とはどういう意味だろう
9. ウィトゲンシュタインの言葉その他
10. わかっていることを知ること(1)
11. わかっていることを知ること(2)
12. まとめ

履修者のみなさんからの声にしたがって、若干順序や内容上の変更があるかもしれません。

評価方法

出席・応答文（感想文）・レポート等、総合的にみて評点させていただきます。

教科書

適宜プリント配布します。

参考書

教室で紹介します。

日本文学

1・2年次選択（前期・後期）2単位

准教授 坂内 泰子

講義目標

5000円札でおなじみの明治の女流作家樋口一葉は、一家の主として母と妹を養うために必死で小説を書きました。小説に使う言葉が文語から口語へと移る時代に、一葉は文語を駆使して、当時の社会の片隅に生きる人たちの姿を描き出しました。文語だから古文みたい、現代語訳がなきゃわからない、と思う人もいるでしょう。確かに1人で読むのはちょっと大変です。だからみんなで一緒に読みましょう。一葉の作品を知らないで社会に出るなんてとても残念。読めば思いがけない発見や感動に出会えることを約束します。

講義内容

「たけくらべ」を味読します。遊郭のある街で育つ子どもたちの暮らしやほのかな初恋を描いた名作です。短編ですから、読み終えるのには時間がかかりません。また、この作品の魅力はストーリーと同時に、無駄のない、流れるような文章の美しさです。まず声に出して読めるようにします。声に出して読み、耳に聞こえたまま、素直に一葉の世界に入っていきます。大筋をつかんでから、丁寧に読み解いていきます。作品の緻密さにきつと驚くことと思います。

評価方法

出席、授業中の態度、レポート（状況により試験の可能性あり。）

教科書

岩波文庫「にぎりえ・たけくらべ」（樋口一葉）

参考書

教室で指示

日本語

1・2年次選択（前期・後期）2単位

講義目標

日本にすむ私達のほとんどが最も熟達し、最も慣れ親しんでいる日本語という言語を<なんとなく>とか<だってそういうんだもの>という感覚的なものから、<どうしてそういうふうにするのか/いってはいけないのか>と考えることのできる言語にしたいと思います。規範的なものを暗記するのではなく、日常の中から日本語の特質を考え、現代の日本語を文法的に考える力の養成が目的です。積極的に授業に参加し、「わからない!」と思った数の多い人ほど文法的な考え方を身につけることが可能です。（試験前の一夜漬けがきかない科目だと考えてください。）

講義内容

自然な日本語の使い手としての皆さんの積極的な発言・資料提供をもとにしながら、現代日本語についての文法的な考え方を学ぶ授業です。単語、品詞、ボイスやテンスといった文法の「かたち」を学び、高校までの、いわゆる学校文法にはなかった概念を扱いますが、それを形作る素材はすべて自分達の口にする日本語ですので安心してください。ただし、いくつかの専門用語や考え方は理解しなければいけません。

評価方法

出席、授業中の態度、試験

教科書

森山卓郎『ここからはじまる日本語文法』

参考書

教室で紹介

日本語表現法

1・2年次選択（前期・後期）1単位

講義目標

自分が考えたり、感じたりしていることを、自分以外の人に伝えるための言語化の実践を主に取り扱います。相手にわかりやすく、かつ自分らしい魅力的な文とはどういう文かを考えていきましょう。同時に、書くときの基本的なルールを身につけることも目的とします。人を驚かせるような名文は、ある程度生まれながらのセンスかもしれませんが、普通に安心して読める文章なら、意識して学習することで、誰にでも書けるようになります。

講義内容

1. 表記の作法
2. 自分にしか書けない文
3. わかりやすい文の特質
4. 定義・説明をする文
5. 意見を述べる文
6. 文章の構成
7. 場合に応じた書き分け

上記のような内容を予定しています。学期中、8~10本前後の提出物があると考えてください。みなさんの作品が教材になることもありますので、覚悟してください。書く内容はみなさんの予想以上にさまざまです。苦しまないで書けるような題材を工夫したいと思います。

評価方法

准教授 坂内 泰子

授業課題に関係した提出物、レポート

教科書

プリント

参考書

教室で紹介

日本語教授法

1・2年次選択（前期・後期）2単位

准教授 坂内 泰子

講義目標

外国の人に日本語を教えてみたい、と思う人のために、日本語を教えるとはどういうことなのかを概説します。基本的にはボランティアの立場で教えることを想定していますが、それでも、日本語を母語としているだけでは教える能力があることにはなりません。単なる教える技術に留まらず、日本語を知らない人と日本語を通してどんな関係を築いていけばよいかを常に念頭において、多文化共生社会に生きる姿勢を考えていきましょう。

講義内容

日本語教育や日本語学習者の現状を学んだあと、日本語の音声や語彙、文字などの特質とその教え方などを学びます。いろいろな日本語教科書の構成やそれを使った授業の進め方についても触れ、日本語を教える型である「文型」を学びます。また、日本で暮らす外国人をとりまく問題も必要に応じて紹介したいと思います。ハウ・ツールの技術の切り売りを教える授業ではないので、ご注意ください。日本語の文法に関する予備知識を必要とするので、「日本語」既習、あるいは同時受講が望ましいです。

評価方法

出席、授業中の態度、レポート

教科書

プリント

参考書

教室で紹介

日本語教授法

1・2年次選択（前期・後期）2単位

博士（史学）

助教 梅田 玲子

講義目標

外国の人に日本語を教えるというのは具体的にどんなケースがあるのでしょうか。日本で教えるのか、外国で教えるのか。対象となる学習者はどんな人たちでしょうか。子どもでしょうか。大人でしょうか。何のために日本語を学ぶのでしょうか。いろいろなケースについて実際にシラバスの一部を作り、「日本語を教える」ことのおもしろさやその意味について考えていきます。

講義内容

日本語教育や日本語学習者の現状を学び、実際に学習者を想定してシラバスを作ってみます。日本語の学習の中でもとくにJSL（第2言語としての日本語）について、

そのバックグラウンド、学習者、必要とされるシラバスについて考えを深めます。
時間が許せば実習も行う予定です。

「日本語」既習、あるいは同時受講が望ましいですが、想像力と創造力があれば大丈夫です。

評価方法

出席、授業中の態度、レポート

教科書

プリント

参考書

教室で紹介

歴史学

1・2年次選択（前期・後期）2単位

教授 君塚 直隆

講義目標

「人間の様々な営み」を学ぶ学問である歴史学には、政治史・経済史・社会史・文化史など、様々な分野があります。また、地域にしても、ヨーロッパからアジア・アフリカに至るまで多岐にわたっております。しかし、現代日本の我々に絶大な影響を及ぼしている文化が、近代以降の欧米文化であることに異論はないでしょう。その近代欧米文化の基盤となっている感性に焦点を当てながら、「歴史とは何なのか？」をみなさんとともに考えていきたいと思っております。

講義内容

今年度は、近現代ヨーロッパ（アメリカも含める）の音楽史を題材に、彼らの思想・感性の背景となっている、宗教・風俗なども考慮に入れながら、欧米文化の実像に迫っていきたくと考えております。現在の予定は以下のとおりです。

1. 中世音楽の誕生（グレゴリオ聖歌など）
2. ルネサンスの時代（フランドル楽派の興隆）
3. バロック音楽の登場（ヴィヴァルディ・ヘンデルなど）
4. バッハと宗教音楽（プロテスタントの音楽）
5. 古典派とヨーロッパの激動（ハイドン・モーツァルト）
6. ベートーヴェンの時代（ソナタ形式の定着）
7. ロマン派の時代（ショパン・シューマンなど）
8. 近代オペラの時代（ヴァーグナー・ヴェルディなど）
9. 世紀末のひろがり（ブルックナー・マーラーなど）
10. 20世紀の音楽（ジャズとロックの誕生）

評価方法

筆記試験と授業態度で評価をいたします。なお、音楽鑑賞も重要な位置を占めますので、講義中の遅刻・早退・私語・チューイング・携帯電話は固く禁じます。約束を破った場合には、即退室、履修の取り消しを命じますので注意してください。

教科書・参考書

特定の教科書は使いません。参考書につきましては、適宜、指示します。

教育学

1・2年次選択（前期）2単位

講師 高橋 勝

講義目標

現代社会における「子ども・学校・社会」の問題を多角的に考察する。その際に、前近代から続く無意図的人間形成、社会化の機能と近代社会に固有の意図的「教育」(education)の機能を区分けして説明する。家庭や地域社会の「人間形成」機能が縮小するに従って、学校の「教育」機能が拡大し、肥大化していく構造を具体的に説明する。現代社会における「子ども・学校・社会」の人間形成の諸課題を構造的に理解し、その解決策をイメージ豊かに考えられる力を養成する。講義に加えて、随時VTR、画像などを使用しながら、できるだけ具体的に授業をすすめていきたい。

講義内容

1. 人間形成と教育
2. 「子どもの発見」の意味
3. 人間形成の歴史人間学
4. 「子ども／大人」の分節化
5. 農耕・牧畜型社会の人間形成
6. 工業型社会の人間形成
7. 情報・消費型社会の人間形成
8. 「一人前」から「発達」へ
9. 学校空間と子ども
10. 旅と遍歴の教育学
11. 子どもの遊び空間
12. 経験の変容
13. 経験のメタモルフォーゼ
14. 子どもメディア空間
15. まとめ

評価方法

出席状況、レポート、学期末試験の結果を総合して判断します。

教科書

授業中に指示します。

参考書

高橋 勝『情報・消費社会と子ども』明治図書
高橋 勝『文化変容のなかの子ども』東信堂
高橋・下山田編『子どもの〈暮らし〉の社会史』川島書店

法学

1・2年次選択（後期）2単位

講師 伊東 明子

講義目標

私達は意識するしないにかかわらず、毎日「法」と関わって生きています。人として社会の一員として生活して行くためのルールの一つが「法」であるからです。授業では、憲法・民法・刑法を素材として、「法」とは何かをやさしく説明します。

単に事実や法律を解説するのではなく、「自分ならどう考えるか」という問題意識を法的に組み立てて行くことを目標とします。受講者の皆さんがそれぞれに積極的な姿勢で授業に参加することを希望します。

講義内容

現実にテレビや新聞で報道される、身の回りで起こっている出来事からさまざまな問題を取り上げて解説して行きます。ビデオなどの教材も活用します。受講者の興味や関心に配慮して、事例を考えるつもりです。進行はおおよそ次の通りです。

1. 法とはなにか
2. 憲法と法律
3. 家族と法
4. 消費者と法
5. 労働と法
6. 犯罪と法
7. 裁判と法

評価方法

授業中にコメントの提出、小テストやビデオ視聴時のワークシート記入をそれぞれ数回実施します。学期末試験は筆記試験を予定しています。これらの総合評価により成績を決定します。

教科書

青柳幸一・笠原毅彦・安部哲夫・磯本典章 著『新版・現代法学入門(第4版)』(尚学社)『デイリー六法・平成19年版』(三省堂)

参考書

必要に応じて適宜、紹介します。

日本国憲法

1・2年次選択(後期)2単位

講 師 伊 東 明 子

講義目標

「教育を受ける権利」を享受してきた皆さんにも、社会に出て「勤労の義務」を果たし、「参政権」を行使する日がやってきます。私たちの生活のルールである「法」の中で、総元締めである憲法は、私たち個人の人権を保障し、国の仕組みを規定しています。憲法は実は身近なところにつながっているのです。

基本的人権を中心とした憲法の様々な個別の論点を理解し、自分なりの意見を組み立てる作業を通じて、日本国憲法の基礎的な知識や考え方を身につけることを目標とします。

講義内容

憲法が現実の生活に関わっている具体的な事件(判例)を紹介しながら、憲法がどのように解釈されているのかを解説します。資料プリントやビデオなどの教材も活用します。受講者の興味や関心に配慮して、事例を考えるつもりです。進行はおおよそ次の通りです。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 日本国憲法の誕生と基本原理 | 2. 人権は誰のものか |
| 3. 生命・自由・幸福追求権 | 4. 法の下での平等 |
| 5. 精神的自由権 | 6. 経済的自由権 |
| 7. 社会権 | 8. 憲法と平和主義 |

評価方法

授業中にコメントの提出、小テストやビデオ視聴時のワークシート記入をそれぞれ数回実施します。学期末試験は筆記試験を予定しています。これらの総合評価により成績を決定します。

教科書

青柳幸一・笠原毅彦・安部哲夫・磯本典章 著『新版・現代法学入門(第4版)』(尚学社)『デイリー六法・平成19年版』(三省堂)

参考書

必要に応じて適宜、紹介します。

文化人類学

1・2年次選択(前期・後期)2単位

Doctor of Philosophy

教 授 木 山 英 明

講義目標

人類学は、猿から人間への進化を研究する学問である。その人類学は、自然人類学、文化人類学、考古学に大別されるが、この文化人類学では、原始社会に注目し、人間存在のルーツについて追及する。とくに本講では、「結婚と家族」および「仲間と社会」の問題を中心に講義する。

講義内容

- | | |
|---------|------------|
| 第 1～3回 | 「枠組み」の問題 |
| 第 4～8回 | 「結婚と家族」の問題 |
| 第 9～14回 | 「仲間と社会」の問題 |
| 第 15回 | まとめ |

評価方法

期末試験を中心に、質問内容・回数、出席率等を加味して評価する。

教科書・参考書

木山英明著『人間の来た道-人類学の話』好文出版、2002年。
(必要箇所をコピーして配布するので購入する必要はない。)

比較文化論－日本人は如何なる国民か

1・2年次選択(前期・後期)2単位

Doctor of Philosophy

教 授 木 山 英 明

講義目標

日本人の国民性について考察する。

日本人、すなわち自分が何者かと問うとき、自分だけで自問自答しても何もわからない。井戸のなかでただ一匹ですむ魚は、自分の姿がわからない。しかしその魚が、たまたま大海に出て多くの他の魚に接したとき、彼は自分の大体の姿を知るであろう。文化・国民性についても同じだ。日本人が、日本人だけを見てその姿を知ることはできない。多くの外国の国々を背景において、そうした非日本人と比較するのでなければ、私たち自分の姿は見えてこない。つまり、比較文化論が必要だ。

つぎに、「通文化研究」と呼ばれる比較文化論も紹介する。文化はその国固有の生活習慣だが、ひとつの生活習慣は、他の生活習慣と因果関係で結ばれていることもあり、そうでないこともある。たとえば子供を厳しく育てる国の大人は、体格も大きく大胆で病気にも罹りにくいという傾向、あるいはスキンシップを剥奪して子供を育てると乱暴者になりがちだという傾向などが、通文化研究で明らかにされている。

講義内容

- ① 序論： コースの目標、自己紹介。
文化と自然、猿の原初文化、文化と文明、文化は民族の伝統。
木山素稿「はしがき」
- ② 第1章 駆け引きと謝罪
- ③ 第2章 義理と人情
義理と人情
- ④ 第3章 言挙げということ
言挙げということ
- ⑥

- ⑦ 第4章 肉と食人習慣
- ⑧ 第5章 大陸の肉食と島国の生類
- ⑨ 大陸の肉食と島国の生類
- ⑩ 第6章 幼児体験と国民性
- ⑪ 幼児体験と国民性
- ⑫ 第7章 光と陰
- ⑬ 光と陰
- ⑭ 「結語」「あとがき」まとめ
- ⑮ (予備日)

評価方法

出席、質疑回数内容、レポートによって評価する。

教科書

木山英明素稿『ものいう国ともものいわぬ国 - わが国民性の比較文化論』2008年。
(全文のコピーを配布する)

参考書

Ruth Benedict著、長谷川松治訳『菊と刀』社会思想社、1991年。
Lafcadio Hearn著、池田雅之訳『日本の面影』角川書店、2000年。
土居健郎著『甘えの構造』弘文堂、1996年。
木山英明著『文化人類学がわかる事典』日本実業出版社、1996年。
木山英明著『人間の来た道-人類学の話』好文出版、2002年。
Website「通文化テストの広場」

心理学

1・2年次選択 (前期・後期) 2単位

教 授 櫻 井 信 也

講義目標

心理学は、人間の心を研究する科学である。心理学者は、多くの手段を用い、いろいろの側面から人間の心を研究している。その理論的アプローチも種々であるが、ここでは、無意識の作用を重視する臨床心理学的な視点を大切にして講義したいと考えている。臨床心理学は、心の問題を持つ人にどのように治療的にかかわるか、という実際の必要請から生まれた学問の体系である。心の一般法則ではなく、個性性を重視するものである。生き生きとした心の諸相を伝えられたらと思う。

講義内容

無意識の現象、夢の意味と機能、防衛機制 (適応機制)、心の病理を予定している。また、「社会的引きこもり」など今日的な問題も取り上げてみたい。

評価方法

出席、積極的に発言し、考えを述べる態度、そして筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書

河合隼雄 著『ユング心理学入門』(培風館)

自然人類学

1・2年次選択 (前期・後期) 2単位

Doctor of Philosophy

教 授 木 山 英 明

講義目標

人間は本当にサルの子孫だろうか。もしそうだとすると、それはどのような経路をたどって、今日の人間になったのだろうか。この疑問が自然人類学の大問題です。授業の半分は、大体この問題について講義します。

つぎに、動物には種によって固有の習性がある。そうした習性は、結局のところ自分の利益を最大化する利己的な行動だけとは限らない。動物も結構「愛他的」altruisticな行動もする。人間の習性は何か。人間がときどき見せる愛他行動は、どの程度、どのように我々のDNAに書き込まれたものなのか。そうした「人間行動学」(人間についての動物行動学)が、後半のメインテーマになります。

講義内容

(“『 』 pp. - pp.” は、文献参照のページ。)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ① 地球の誕生、生命の誕生。 | (資料配布) |
| ② 地質年表、生物分類学。 | 『人』 pp. 92-95. 105-107. |
| ③ サルの誕生、サルの特徴、サルの進化と分類。 | 『人』 pp. 95-97. 107-109. |
| ④ 類人猿ドリローピテクスからヒト(猿人)へ。 | 『人』 pp. 63-92. 108-113. |
| ⑤ アウストラロピテクス(猿人)の分化と進化。 | 『人』 pp. 114-117. |
| ⑥ ホモ・エレクトス(原人)の登場。 | 『人』 pp. 53-62. 116-118. |
| ⑦ その生活-チーム狩猟、戦争、文化。 | 『人』 pp. 119-125. 135-140. |
| ⑧ ホモ・サピエンスの登場。 | |
| ⑨ 生物適応と人種分化。 | |
| ⑩ モンゴロイドとは何ものか。 | |
| ⑪ 日本人の起源。 | 『日』 |
| ⑫ 生物進化と自然淘汰。 | 『人』 pp. 437-445. |
| ⑬ 愛他行動の進化。 | 『人』 pp. 126-135. |
| ⑭ 性と同性愛。 | 『本』 pp. 179-218. |
| ⑮ (予備日) | |

評価方法

出席、質疑回数内容、レポートによって評価する。

教科書

木山英明著『人間の来た道-人類学の話』好文出版、1994年。 略号『人』
(教科書・参考書は、参照箇所のコピーを配布するので、購入する必要はない。)

参考書

0. Wilson 著、岸由二訳『人間の本性について』思索社、1983年。略号『本』
埴原和郎著『日本人の誕生』吉川弘文館、1996年。略号『日』

自然科学概論

1・2年次選択 (前期) 2単位

講 師 伊 藤 し ゅ う

講義目標

現代の科学と科学技術について理解を深め、メディアが報道する科学関連の話題を正確に理解し、批判的に考察するための知識と科学的思考力を身につける。

講義内容

1. 科学・科学技術とは何か

- 科学の定義、現代科学の特質、科学・科学技術・社会の関わり
- 2. 地球環境問題
 - 地球温暖化、エネルギー転換（バイオエタノール、原子力など）
 - その他の地球環境問題、環境倫理
- 3. 生物学と社会
 - 遺伝子学の発展、生物学と医学、生命倫理
- 4. 情報工学と社会
 - コンピュータ、ネットワーク、情報社会とデジタル・ディバイド

評価方法

筆記試験と出席状況で総合的に評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。講義時に資料を配布する。

参考書

講義時に紹介する。

統計学

1・2年次選択（前期）2単位

講 師 高橋 和子

講義目標

情報化社会といわれる現在、様々な情報をどう読みとるかは大変重要です。

統計学とは統（す）べてを計（はか）ると書きますが、観察や調査によって得られたデータを分析し、その特徴や傾向などの特性をつかみ、当面する問題に合理的な判断を下すための客観的な情報を与えてくれる一つの学問です。

大きく分けて、手持ちのデータだけから読みとる記述統計と、データの背後にある対象について統計分析を行う推測統計があります。ここではその基本的な考え方を学び、身近なデータを用いて統計分析を行います。またパソコンを利用して統計量の計算やいろいろな統計グラフを描きます。

本講義は、統計学の理論的な面よりも、データを分析するために必要な統計学的な考え方、意味等に重点を置き、統計学的な物の見方、考え方を身につけることを目標とします。なお、授業ではエクセルを使いますので、エクセル初級程度はマスターしていることが履修の条件となります。

講義内容

1. 統計学の歴史
2. データを記述する
 - 基本統計量
 - 統計グラフ
3. データを推測する
4. データを仮説検定する
 - 母平均の検定
 - ノンパラメトリック検定
5. 2組のデータ
 - 相関係数
6. 生活の中のいろいろな統計量
 - 国民平均貯蓄高
 - 天気予報 など
7. インターネットと統計情報

評価方法

レポートとミニテスト、平常点。

教科書

室淳子、石村貞夫 著『Excel でやさしく学ぶ統計解析』（東京図書 2,000円）

参考書

必要に応じ指示します。

体育A（スポーツ実習Ⅰ）

教 授 片岡 義則

1・2年次選択（通年）1単位

実習目標

私たちにとってスポーツをすることの価値には、主なものとして2つを上げることが出来る。

1つは、健康と体力の維持向上に貢献することである。つまり運動が不足すると、体力の低下、病気に対する抵抗力の低下、循環器系などの病気の促進、精神神経系の障害、肥満の促進、老化の促進など心身に悪い影響がある。生活することがそのまま運動になっていた時代と違い、今日では生活の中に意識的に運動を取り入れない限り運動不足になってしまう。したがって、生涯健康的な生活をするためには、日頃からバランスよく運動に接することが大切である。

2つとしては、多種多様な人たちと交流する際のコミュニケーション手段としても役に立つことが上げられる。つまり世代や地域などの違いを越えた交流を可能にする。またスポーツは「世界共通言語」でもあり、このユニバーサルな交流手段を身に付けることは、私たちの生活を豊かなものにしてくれる。

そこで、本実習においては、スポーツを通して健康と体力の維持向上を図り、さらにストレスの解消、仲間との連帯感にも役立つものになりたい。種目としては、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球などの体育館種目を取り上げ、各種目の基礎技術を習得するとともに、レベルに応じたゲームを楽しめるように段階的に授業をおこなってゆく。

また、健康と体力そしてスポーツに関連する豆知識的な内容をプリントとして提供してゆく。

実習内容

1. バレーボール
 - ①基礎技術（サーブ、パス、トス、スパイク、ブロック）
 - ②パスゲーム→ 攻撃できるゲーム（乱打形式）→ ルールを工夫したゲーム
2. バスケットボール
 - ①各種のシュート技術
 - ②スリー・オン・スリー→ 半面コートでのゲーム→ 全面コートでのゲーム
3. バドミントン
 - ①基礎技術（ハイクリアー、スマッシュ、ドロップ、ドライブ、ヘアピン、ロブ）
 - ②コート制限ゲーム→ストローク制限ゲーム→シングルスゲーム→ダブルスゲーム
4. 卓球
 - ①基礎技術（フォアハンドドライブ、バックショート、カット、サーブ）
 - ②ラリー連続回数・競争→球種制限ゲーム→シングルスゲーム→ダブルスゲーム
5. 体育A（スポーツ実習Ⅰ）としての体育知識
 - ①健康、体力、スポーツに関連する知識

評価方法

出席状況、授業態度を中心として、技能の向上、ゲームの結果、テスト結果なども加味して総合評価する。

教科書・参考書

特に指定しない。

体育B（スポーツ実習Ⅱ）

1・2年次選択（通年）1単位

教授 片岡 義則

実習目標

人生80年という時代になり、「生涯健康で生活できる」ことの意味が、ますます重要になってきました。そして、現代において疾病傾向が感染症から生活習慣病へと変化してきました。これは、ある意味では「自分の健康は自分でつくる」ことが可能になってきたとも言えます。また、生活水準が向上し、余暇時間も増大して、多種・多様な運動の楽しさを求める可能性も多くなってきました。

そこで、適度な運動刺激があり、年齢やその人の体力、技能に応じてできる屋外でのポピュラーなスポーツとしては、テニスとゴルフが上げられます。

まず、テニスは比較的用具も手軽で、少人数でも出来ることから運動する習慣を身につけやすく、その楽しさを生涯にわたって味わうことが期待できます。そこで、本実習においては、生涯スポーツとして最適なテニスを、初歩からダブルスゲームが出来るまで段階的に授業を行ってゆきます。

次にゴルフですが、これは施設と用具の関係でゴルフそのものは実施出来ず、本実習においては、ターゲットバードゴルフを取り上げます。この種目は、ゴルフボールにバドミントンの羽根のようなものを取り付けた形状の専用ボールを、ゴルフクラブ（ショートアイアンのみ使用）で打ち、傘を逆さにしたようなホールへ入れるミニゴルフの一種です。したがって、本実習においてはゴルフ入門の内容の授業を行います。

また、健康と体力そしてスポーツに関連する豆知識的な内容（体育Aとは異なった）をプリントとして提供してゆきます。

実習内容

1. テニス

①ボールつき

ラリーラケットでボールを扱うことに慣れる。イースタングリップに慣れる。

②サーブコートで行う

ミニゲームグランドストロークの初歩的動作の習得。初歩的ルール・審判法の理解

③半面コートで行うシングルスゲーム

グランドストロークの基本動作の習得。サーブの基本的打法の習得。ネットプレーの習得。

④ダブルスゲーム

前・後衛それぞれの基本ポジションと審判法を理解し実践する。

2. ターゲットバードゴルフ

①スイングの基礎づくり……グリップ、スタンス、予備動作、スイング

②ショート・コース競技

3. 体育B（スポーツ実習Ⅱ）としての体育知識

①健康、体力、スポーツに関連する知識

評価方法

出席状況、授業態度を中心として、技術の向上、ゲームの結果、テスト結果なども加

味して総合評価する。

教科書・参考書

特に指定しない。

健康科学

1・2年次選択（前期・後期）2単位

教授 片岡 義則

講義目標

日本の健康水準は近年、著しく向上しており、「生まれた子どもの多くが長生きできる社会（世界有数の長寿国）」となっている。これは、生活水準の向上や医学・医療の進歩により、感染症などの急性期疾患を減らすことができたためである。

しかしその一方で、がん、心臓病、脳卒中が死因順位の上位を独占するようになってきている。これらの病気は、その発生や進行に生活習慣が深く関係しているため生活習慣病とよばれている。つまり、こんにち、私たちの健康と長寿を阻害する最大の病気は生活習慣病である。この病気は、個人の生活習慣の積み重ねが深く関係しておこる。このことから、「健康は与えられるもの」ではなく、「自らの手で獲得するもの」と言われ、若い頃からの生活習慣が大切なものとなってきている。

そこで、本講義においては、「私たちの日常生活」を「健康」という視点から分析し、考察することにより、健康的な生活をおくるための知識を習得し、健康的な生活習慣の実践に役立つことを目標としている。

また視聴覚教材により、現代の健康問題に関して深く考えてもらいます。

講義内容

1. 生活習慣病とその予防……がん、循環器病
2. 栄養・食生活……肥満、ダイエット、食事の内容、食事の時間と回数、食事と食品
3. 身体活動・運動……適度な運動、有酸素運動（エアロビクス）、運動と肥満予防
4. たばこ……受動喫煙、女性と喫煙、禁煙法
5. アルコール……酩酊の度合い、一気飲み、酒に弱い人、依存症
6. 休養・こころの健康づくり……睡眠、体内時計、心身相関
7. 自然治癒力……免疫、アレルギー
8. 性と生……エイズ、性感染症（STD）、生殖医療

評価方法

授業中に実施する各種課題やテストとともに、出席率や平常の授業態度等を含めて総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書

中野優 著『21世紀の健康マニュアル』（NHK出版）

コンピュータ演習

1・2年次選択（後期）1単位

講師 高橋 和子

講義目標

情報化社会といわれている現在、情報に対し、正しく理解し基本的な知識や技能を身につけていくことが求められている。そのためのツールとして広く用いられているパソ

コンについて高校で学んだ基礎の上にさらに活用できるように、実習を中心に学び、実用的なパソコンの使い方を修得し、演習する。

講義内容

- ・情報処理とコンピュータについて概論
- ・表計算ソフトのExcelを使って実習。
(作表、演算、グラフ、データベース機能)
- ・ワープロソフトのWordを使って文書作成について実習。
(漢字変換システム、文書の編集、印刷、保存)
- ・プレゼンテーション用ソフトのPowerPointを使って実習。

評価方法

- ・平常点 (出席、授業中に作成した課題)
- ・演習テスト (パソコン実習問題)
- ・レポート (データの処理等)

の総合による。配点は未定。

演習授業は毎回積み重ねであるので、1回休むとその遅れを取り戻すことが難しい。授業への出席は重要視されるし、又逆に出席していればできる。

教科書

『60時間でエキスパート Word & Excel』(実教出版社 1,000円)

参考書

必要に応じ指示する。

コンピュータ演習

1・2年次選択 (後期) 1単位

講師 東福 都美子

講義目標

現代生活におけるコンピュータの役割を理解し、コンピュータの操作、活用方法について学ぶ。高度情報化社会といわれる現在、必要な情報を上手に収集し整理する力が問われている。そのためにはコンピュータの基本的なしくみを理解し、適切なアプリケーションソフトを選択、操作するといった力が必要となる。インターネットの加速的普及により益々身近になった観があるコンピュータだが、まだまだ一般人が目的に応じて心地よく使いこなすといったレベルまでは至っていないように見受けられる。本講義では、コンピュータを有効に利用する手立てとして、基本ソフト(OS)のしくみを理解し、演習を通してレポート作成等に必要ワープロ・表計算ソフトの習得を目指す。また作成したレポートを発表する際に手助けとなるプレゼンテーションソフトについても学習する。なお本講義演習の中心は表計算ソフト「EXCEL」の操作が中心になる。

講義内容

1. コンピュータの基礎知識
2. インターネット情報検索と収集
3. 日本語入力の基礎
4. ワープロ (WORD)
5. 表計算 (EXCEL)
6. プレゼンテーション (PowerPoint)

評価方法

出席・提出物・宿題、・試験による総合評価

教科書

開講時に指示する。

参考書

必要に応じ随時指示する。

英文ワープロ実習

1年次選択 (前期) 1単位

講義目標

【教員共通】

はじめにコンピュータを操作する上でもっとも基本的な技術であるタッチタイピングを習得する。次に英文ビジネス文書の作成を通して英文ワードプロセッサの操作を学び、国際社会で十分通用するレベルのところまで学習を高める。近年インターネットの普及により、文書作成の方法、伝達手段などに様々な変化が見られるようになった。電子メール、紙文書の電子化などはその代表とも言えるが、書類作成の基本はやはりワープロソフトを使っての文書作りであることに変わりはない。手本となる書式に従い、「読みやすく、わかりやすく、そして見栄えがする文書」を効率的に作成する力を養う。

講師 東福 都美子

講義内容

1. キータッチ・トレーニング (Type Quick)
2. 英文ワードプロセッサ (WORD)
 - (ア) ファイル操作と管理
 - (イ) 英文文書の書式設定
 - (ウ) バックアップルール
 - (エ) 校正記号
 - (オ) 英文ビジネスレター
 - (カ) 英文レポート
 - (キ) 作表

評価方法

課題提出、出席率および実技試験の結果を考慮した総合評価

教科書

『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』

齋藤真弓編著、John Freeman著、東福都美子著 同友館版

参考書

教室で指示する

講師 坂口 弘子

講義内容

1. コンピュータの基本 (ファイル操作と管理)
2. キータッチ・トレーニング (ブラインドタッチの習得)
3. 英文ワードプロセッサ (WORD 2003)
 - a. 英文文書の書式設定
 - b. 記号・符号のルール
 - c. 英文ビジネス文書
 - d. ビジネスEメール
 - e. 英文各種書式(レポート、旅程表、履歴書)

j. インターネット(英文仕様)

評価方法

課題提出、出席および期末試験等の総合評価

教科書

『パソコン・ワープロ』パソコンワープロ研究会 坂口弘子、他著

参考書

教室で指示

文献講読(Readings in Anthropology)

2年次選択(前期) 1単位

Doctor of Philosophy
教授 木山 英明

講義目標・講義内容

この科目は、後期の特別演習と併せて、受講生たちが自分で年間の研究計画を立てて勉強する自主的な講座です。講師はそれについて助言する。勉強の枠組みは、特別演習の欄に記した通りですが、大枠は人類学です。熱心な受講生を歓迎します。

文献講読(Clinical Educational Psychology)

2年次選択(前期) 1単位

教授 櫻井 信也

講義目標

臨床教育心理学について学びたい。臨床教育心理学とは、臨床ということばが意味するように、学校教育現場での問題の理解と解決、そして予防を意図して実際に役に立つ教育心理学を旨とするものである。受講生の臨牀的視点を育てていきたいと考えている。

講義内容

受講者には、文献のなかからテーマを選択してもらい発表する機会を与えたい。文献は少々難解かもしれないが怖れずにとりくんでもらいたい。きちんと手助けしていくつもりである。取り上げるテーマは、発達課題、パーソナリティとその理解、心理臨床からみた集団、学校カウンセリングの諸問題、非社会的な行動(不登校、場面緘黙など)、非行などを考えているが、受講生の関心も配慮したい。

評価方法

出席、積極的に発言し、考えを述べる態度。

教科書

氏原 寛 他編『臨床教育心理学』(創元社)

参考書

講義のなかで必要に応じて紹介していきたい。

文献講読(American History)

2年次選択(前期) 1単位

博士(史学)
教授 君塚 直隆

講義目標

アメリカに関わる英語文献を講読することによって、この国の政治・経済・社会・文化に関する理解を深めていきます。

講義内容

現代世界におきましては、アメリカは「唯一の超大国」となって、世界中で起こっている事件に深く関与する国となっております。そのような状態を引き起こす要因となりました「冷戦」とは、いったいどのような現象だったのでしょうか?今年度は、有賀貞 *An International History of the Modern World* (研究社, 2003)を講読しながらこの問題を、みなさんとともに考えてみましょう。

評価方法

授業での発表をもとに評価します。

教科書・参考書

上記の本のコピーを配布します。また、この本を読むにあたっての、日本語の参考文献も適宜、指示します。

特別演習(Seminar in Anthropology)

2年次選択(後期) 1単位

Doctor of Philosophy
教授 木山 英明

講義目標・講義内容

人類学に興味をもつ人たちが集まって、自主的に勉強し、それを発表し合って討論する場です。人類学 anthropology は、人間を「科学的」に研究する学問であって、「自然人類学」と「文化人類学」と「考古学」の三つの分科学で構成されています。この範囲のなかでどのようなテーマで勉強するかは、開講後、受講者たちの関心等を考慮して決めましょう。

特別演習「唐詩鑑賞」 (An Appreciation of Tang Poetry)

2年次選択(後期) 1単位

教授 新谷 雅樹

講義目標

唐の時代の有名な詩人たちの詩を可能な限りたくさん鑑賞します。詩ですから朗誦を重んじますが、もちろん朗誦には中国語の現代音を用いますので、中国語初級を修了しピンインのルールを習得した方が履修してください。目標は難しいことですが、時空を超えた詩人たちの喜怒哀楽の感情を共有することです。

講義内容

NHKのビデオ「漢詩紀行」を主たる教材に使います。

- 1 李白
- 2 杜甫
- 3 孟浩然
- 4 王維
- 5 白樂天

など錚々たる詩人の作品を読みすが、まず李白なら李白のビデオを観てから、そこで取り上げられた漢詩について各自、調べてもらい、発表してもらいます。それから、み

んなで質疑応答にうつり、疑問なところ、感動したところを議論しあいます。

評価方法

出席、発表のよしあし、平常点、レポートで評価します。

教科書等

教科書等は授業のたびに指示します。図書館などで借り出してきてください。

特別演習 (Clinical Psychology of Adolescence)

2年選択 (後期) 1単位

教授 櫻井 信也

講義目標

思春期・青年期の心理的特性と発達課題、そして、その病理について考えていきたい。

具体的な事例も取り上げながら理解を深めていく。受講生の特定のテーマについての発表も期待し演習に深く関与することを望むが自由な雰囲気です。じっくりと考えられる時間にしたい。病理については神経症から精神病のレベルまでを対象とする。

講義内容

1. 思春期・青年期の臨床的発達論
2. 社会的ひきこもり
3. 境界例
4. 摂食障害
5. 強迫性障害 (主として不潔恐怖)
6. 対人恐怖

評価方法

出席、積極的に発言し、考えを述べる態度、そしてレポート。

教科書

青木省三 著『思春期の心の臨床』(金剛出版)

参考書

講義のなかで必要に応じて紹介していきたい。

特別演習 (French Civilization)

2年次選択 (後期) 1単位

教授 山崎 ゆき子

講義目標

フランスには文化遺産が豊富に存在します。これらは、当時の技術の粋が集められて建設されたものであり、芸術的に極めて貴重なものばかりです。しかしそれだけにとどまらず、それぞれの建造物の背後には、そこで繰り広げられた様々な人々の生活やドラマが存在しているのです。ですから、どのような時代に、どのような理由で作られたか、さらにどのような運命をたどってきたか、などを知ることは、この国を一層深く知ることにつながるでしょう。そこで、本講座では、いろいろな地方の文化遺産への理解を通して、フランスの理解を深めていこうと思います。

講義内容

文献(フランス語)、ビデオ、写真などを利用して、フランス各地の歴史的建造物について、歴史的観点や芸術的観点などから多角的に理解を深めます。同時に、それぞれの文化遺産にまつわるエピソードなどを通して、当時の社会や暮らしを検討します。

【扱う地域と主な文化遺産】

パリ(シテ島及びセーヌ河岸周辺)、ランス(大聖堂)、ブルゴーニュ地方(ロマネスク様式の教会と彫刻)、ヴェルサイユ(宮殿)、モン=サン=ミッシェル(修道院)など

評価方法

授業での発表及び期末のレポートにより評価します。

教科書

プリントを配布します。

特別演習 (The Latin American World)

2年次選択 (後期) 1単位

教授 Bernardo Astigueta

講義目標

「ラテンアメリカ」(中南米)の多様性に富んだ世界を垣間見て、そして自分の興味のある特定のテーマについて調べることを通して、ラテンアメリカ人の感受性や独特の考え方、またはラテンアメリカ世界の特徴を全般的に理解することを目指しています。例えば、ラテンアメリカの料理に興味がある履修者は、この授業でラテンアメリカの料理について資料を収集し、簡単に発表し、他の履修者と料理を作ったりします。この授業ではラテンアメリカ人である教員と共にみんなで意見交換をし、考えを深めていきたいと思います。日本語だけでなく英語やスペイン語も使用できるので、履修者制限はありません。

講義内容

- 1) 特別演習の紹介・ラテンアメリカ世界の紹介
- 2) ラテンアメリカの地理、気候、風土、ラテンアメリカの自然遺産
- 3) ラテンアメリカの人種、混血現象、人種と社会構造
- 4) ラテンアメリカの歴史全般、文化的アイデンティティ
- 5) ラテンアメリカの美術と文学
- 6) ラテンアメリカの音楽
- 7) ラテンアメリカの料理
- 8) ラテンアメリカの宗教と祭り
- 9) 在米ラテン人の世界。労働移民の現状。

評価方法

個人とグループ発表、授業の参加度、最終レポート。

教科書・参考文献

授業で資料を配布し、参考文献を紹介する。

特別演習 (English History)

2年次選択 (後期) 1単位

博士(史学)

教授 君塚 直隆

講義目標

イギリスに関する文献の講読・発表を通じて、この国の政治・経済・社会・文化の理解を深めていきます。また、将来的にも役に立つような、文章のまとめ方、発表の仕方、レジュメの作り方、ものの調べ方も身につけていけるようにします。

講義内容

今年度は、Brian Hoey ,*At Home With the Queen* (London, 2002) をテキストにイギリス王室を支える人々について見ていきます。

評価方法

授業での発表をもとに評価いたします。

教科書・参考書

上記の本をコピーして配布します。

※基礎セミナー

1・2年次選択（前期・後期）2単位

講義目標（基礎セミナーのねらい）

【全教員共通】

「学生に求められる基礎的な力である日本語の読解力、思考力、批判力、そして表現力を確かなものにすることがこのセミナーのねらいです。様々な大学で試みられているものですが、本学では少人数制を生かし、1クラス10名以下に抑え、学生一人一人に応じてその力が伸ばせればと考えます。ですから、出席し、積極的に授業に参画し、課題をこなすことで評価します。それにより無理なく自然に学生としての感受性が培われるはずです。このセミナーは外語短大で学ぶことの土台になるでしょう。これからの生涯学習の時代の出発点にもなるでしょう。多くの学生が積極的に受講し、自信を持って知識の森を、そして情報あふれる社会を歩める人になることを期待しています。

Doctor of Philosophy 教授 木山 英明

講義内容 《前期開講》

絵でも歌でもコツがあるように、文章を書くにもちょっとしたコツがあります。このセミナーでは、数十行の短い日本語を書くことを練習します。人は言葉を使って考え、その考えを、言葉を使って表現します。したがって、いい文章は、いい考えの中からしか生まれません。英語だ何語だという前に、いい文章は何語に翻訳してもいい文章ですし、その逆はまた逆です。そうした文章起草のコツを掴むことによって、自分が今までいかに無駄な言葉を重ねてきたか、いかに思考を無駄に使っていたかを実感するようになるでしょう。

評価方法

毎回の受講成績によって評価する。

教科書

なし。（教室に必要なプリントを配布します。）

参考書

木山編『外短群像2007年』（去年春の受講生たちのエッセイ集—私家版）参照。

博士（史学） 教授 君塚 直隆

講義内容 《前期開講》

このセミナーでは「プレゼンテーション」の仕方について徹底的に指導します。自身自身の意見をいかに他人に伝えるかという能力は、学問を進めるうえではもちろんのこ

と、入社試験の面接や編入試験の面接、さらには社会に出てからの様々な局面において、必ず問われることになる能力です。このセミナーでは、発表の仕方・レジュメの作り方などを指導するとともに、質疑応答のあり方についても検討していきます。

評価方法

各人が興味をもつ時事問題について報告してもらいます。その内容はもちろんですが他の学生が報告しているときにも積極的に質問するよう心がけてください。セミナーへの無断欠席・遅刻・早退や消極的な姿勢が見られた場合には即座に履修の停止を命じますので注意してください。これらの総合的な評価で判定を下します。

教科書

特に使用いたしません。

教授 上原 利實

講義内容 《後期開講》

このセミナーでは二つの作業を半期の間に並行して行い、セミナー設置の課題を果たそうと考えています。一つは新聞の時評などの署名記事を毎回採り上げ、ディスカッションをし、それに基づいて自分の見解を書き表す作業です。もう一つは開講時に提示した数冊の新書程度の本のうち一冊を選び、セミナー終了時まで、その概略をまとめ、書評を果たす作業です。できればそうした作業を単独の作業というよりセミナーの仲間との共同作業として果たすことができればと思います。

教員としてはそのための手助けとして、質問を受け、添削をしたり、また読み方、考え方、発表の仕方、文章のまとめ方など様々なノウハウを提供したり、あるいはコンピューター・リテラシーやメディア・リテラシーといわれるものを紹介・説明します。教室だけでなく、研究室やe-mail（アドレス：zxe01504@nifty.ne.jp）なども利用するつもりです。

情報の消費者に満足するのではなく、情報を批評し、情報の創造的発信者になろうとする学生の受講を期待します。

評価方法

全講義回数の3分の2以上の出席と講義への参画意欲、そして提出された書評文により評価します。なお学生による講義への批評を書評文の後ろに書いてもらいます。

教科書・参考書

特定した教科書は使用しません。講義のなかで適宜資料を配付し、参考文献等を紹介しします。

教授 櫻井 信也

講義内容 《後期開講》

受講生が主体的に選んだ心にのこる小説の1節や昔話などを題材にし、イメージをすばらしく喚起する、その表現を学び、語られている内容についても話し合っていきたい。まず、担当の受講生に口火を切ってもらおう。自分を表現し、自分の考えをきちんと述べること、同時に他者とのやりとりを通して、自分の考えや感じ取り方を深め変化させていく体験をさせたい、と考えている。

あるいは、好きな人物をテーマにして語ってくれてもよい。私は漫画家の、つげ義春を第1回目の講義でとりあげるつもりでいる。なお、受講生は10名程度に限定したい。

評価方法

積極的に思うところを発言する態度。

教科書

題材にする作品、人物は受講生各自が選択する。

参考書

河合隼雄 著『おはなしの知恵』（朝日新聞社）

河合隼雄 著『昔話の深層』（福音館書店）